

高度封じ込め施設内で実施されている作業内容に関する報告

国立感染症研究所

ウイルス第一部長 西條政幸

ウイルス第一部第一室長 下島昌幸

○サルを用いた重症熱性血小板減少症候群ウイルス遺伝子発現組換えワクシニアウイルスのワクチン効果の検討

目 的 : SFTS の霊長類モデルを用いて、得られているワクチン候補の効果を検討すること

実施期間 : 2019 年 3 月～ (作業の人数や要した時間は別表にまとめた)

作業内容 : ワクチン候補を霊長類 (サル) に 2 度接種して、続いて SFTS ウイルスを感染させ、SFTS ウイルスに対する免疫が誘導されているかどうかを調べた。ワクチン候補の霊長類における SFTS ウイルス感染症予防効果を調べた。

今 後 : 採材し保存している各種サンプルの解析を順次行う。

備 考 : 作業期間中、暴露事故等は発生せず、施設稼働環境も適切に維持された。

						(別表)
作業年月	実験室機能	作業人数	作業時間 (おおよそ)	作業内容	滅菌処理	その他特記 事項
				サルを用いた重症熱 性血小板減少症候群 ウイルス遺伝子発現 組換えワクシニアウイ ルスのワクチン効果 の検討		
2019年3月	問題なし	2	2	○		特になし
	問題なし	4	0.5	○		特になし
	問題なし	3	2.5	○		特になし
	問題なし	2	1	○		特になし
2019年4月	問題なし	3	1.5	○		特になし
	問題なし	2	2	○	○	特になし
	問題なし	2	1.5	○	○	特になし
	問題なし	2	1	○		特になし
	問題なし	2	1	○		特になし
	問題なし	2	1	○		特になし
	問題なし	2	1	○		特になし
	問題なし	2	1	○		特になし
	問題なし	4	3	○(病原体使用)	○	特になし
	問題なし	4	3	○	○	特になし
	問題なし	2	1	○	○	特になし
	問題なし	5	2.5	○	○	特になし
	問題なし	2	1.5	○	○	特になし
	問題なし	2	1	○		特になし
	問題なし	2	1	○		特になし
	問題なし	5	2	○	○	特になし
	問題なし	2	1.5	○		特になし
	問題なし	8	5	○	○	特になし
	問題なし	5	3	○	○	特になし
	問題なし	2	2	○	○	特になし
問題なし	2	1.5	○	○	特になし	
問題なし	2	1.5	○	○	特になし	
問題なし	2	1	○		特になし	
2019年5月	問題なし	2	1	○	○	特になし
	問題なし	2	1	○	○	特になし